記者発表資料

平成２８年１１月１４日
国　土　交　通　省
山形県内事務所・管理所

最上川・赤川水系の「河川協力団体」を募集します

国土交通省 山形県内事務所・管理所では、河川協力団体制度に基づき、最上川水系・赤川水系の国管理区間について「河川協力団体」を平成２８年１２月１６日まで募集します。

河川協力団体制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うＮＰＯ等の民間団体を支援するものです。河川協力団体として河川の維持、河川環境の保全等の活動を適正かつ確実に行っていただける団体を募集します。

※平成２５年６月の「水防法及び河川法の一部を改正する法律」により、河川協力団体制度が創設。
今後、河川協力団体に河川管理のパートナーとして活動していただくことで、地域の実情に応じた多岐にわたる河川管理の充実が図られることが期待されます。

１．募集期間　：　平成２８年１１月１５日（火）～　平成２８年１２月１６日（金）

２．募集要項等　：　別添資料をご参照ください。
なお、様式等のデータについては、各事務所・管理所のホームページから入手可能です。

山形河川国道事務所ホームページ　http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/

酒田河川国道事務所ホームページ　http://www.thr.mlit.go.jp/sakata/

新庄河川事務所ホームページ　http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/

最上川ダム統合管理事務所ホームページ　http://www.thr.mlit.go.jp/mogami/

月山ダム管理所ホームページ　http://www.thr.mlit.go.jp/gassan/

３．募集機関　：　東北地方整備局　山形県内事務所、管理所

《発表記者会：山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部、酒田記者クラブ、鶴岡記者会》

問い合わせ先	
国土交通省	国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所　TEL 023-688-8942 技術副所長　水越（みずこし）　崇（たかし）　（内線２０４） 河川管理課長　鈴木（すずき）　浩（ひろし）　（内線３３１） 国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所　TEL 0234-27-3497 技術副所長　高橋（たかはし）　一（はじめ）　（内線２０４） 河川管理課長　荒木（あらき）　秀重（ひでしげ）　（内線３３１） 国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所　TEL 0233-22-0275 技術副所長　佐藤（さとう）　要（かなめ）　（内線２０４） 管理課長　小田島（おだじま）　栄治（えいじ）　（内線３３１） 国土交通省　東北地方整備局　最上川ダム統合管理事務所 TEL 0237-75-2312 技術副所長　大沼（おおぬま）　敏治（としはる）　（内線２０４） 管理課長　大河原（おおがわら）　正吉（まさよし）（内線３３１） 国土交通省　東北地方整備局　月山ダム管理所　TEL 0235-54-6711 所　長　槻山（つきやま）　敏昭（としあき）　（内線２０１） 専　門　職　長南（ちょうなん）　義信（よしのぶ）　（内線３３０）

河川協力団体制度

平成25年6月公布の「水防法及び河川法の一部を改正する法律」により、『河川協力団体制度』が創設されました。

パートナーシップの拡充にむけた新しい取組み
～河川管理のパートナーを募集しています～

河川協力団体制度とは？

◆河川協力団体制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO等の民間団体を支援（※1）するものです。

◆河川協力団体としての活動を適正かつ確実に行うことができると認められる法人等が対象となり、河川管理者に対して申請を行います。

　申請を受けた河川管理者は、適正な審査のうえ、河川協力団体として指定します。



河川協力団体制度の目的

◆今回創設する制度は、河川協力団体として指定し、河川管理者と連携して活動する団体として法律上位置づけ、自発的な活動を促進させ、河川管理のパートナーとして活動していただくことにより、地域の実情に応じた多岐にわたる河川管理の充実を図るものです。

（※1） 許可の簡素化等

河川協力団体の主な活動

◆河川協力団体は、以下のような活動を行います。

1 河川の維持及び河川環境整備等


河川敷清掃


ビオトープの整備

2 河川水辺の情報又は資料の収集及び提供等


船による河岸の情報収集等


シンポジウムの開催

3 河川管理・環境等に関する調査研究等


外来種調査


鳥類調査

4 河川防災情報・安全利用等に関する知識の普及及び啓発活動等


マイ防災マップづくり


安全利用講習

5 上記に附帯する活動

【河川協力団体の活動紹介】

『山形河川国道事務所管内』

河川協力団体名：美しい山形・最上川フォーラム

（H26.4.24指定）

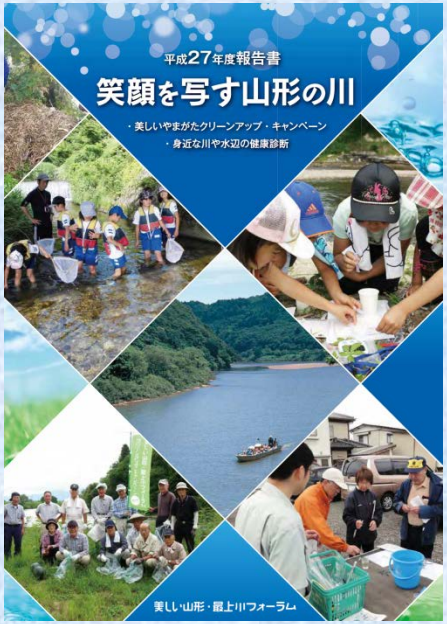
★美しいやまがた　クリーンアップキャンペーン

　置賜～庄内地域の河川周辺のクリーン・アップ活動を実施しています。
　どこに、どんなゴミが、どれくらい落ちているかを調査し、何が原因となっているかを考え、ゴミの減量化、不法投棄をさせない等の社会づくりを目指す取組を平成14年から継続的に実施しています。





平成27年度活動報告書より



平成27年度活動報告書より

★身近な川や水辺の健康診断

　県内一斉に、各地域を流れる河川の水質やその水辺の環境を、簡単な水質調査キットを使用し調査を実施しています。これは、河川への関心を深め、水辺の環境保全等につなげていくことを目的に、平成14年から継続的に実施しています。
　調査結果はホームページや活動報告書で公表し、流域全体での情報共有や、地域ごとの課題解決のための材料として活用しています。

この他にも『美しい元気な山形づくり』として様々な活動を行っています！

【河川協力団体の活動紹介】

『酒田河川国道事務所管内』：赤川水系赤川

河川協力団体名：特定非営利活動法人　鶴岡淡水魚　夢童の会

（H26.4.24指定）

★赤川の自然環境学習

地域の小学生児童に、赤川に生息する魚類をはじめとした、生物についての環境学習を行っています。

赤川に遡上するサクラマスの生涯についての語りや、サクラマスの稚魚放流、カジカ捕り体験など、地域の児童への自然体験学習を積極的に取り組んでいます。





カジカ捕りの様子



サクラマスの生涯についての語り

サクラマスの稚魚放流



平成26～27年度活動報告書より

【河川協力団体の活動紹介】

『酒田河川国道事務所管内』:最上川水系最上川

河川協力団体名:株式会社 みなと

（H26.4.24指定）

★最上川右岸国際海岸　クリーンアップキャンペーン

最上川右岸河口付近のクリーンアップ活動を実施しています。

収集したゴミは、どこに、どんなゴミが、どれくらい落ちているかを種類ごとに分類調査し、何が原因となっているかを考え、ゴミの減量化、不法投棄をさせない等の社会づくりを目指す取組に役立てます。



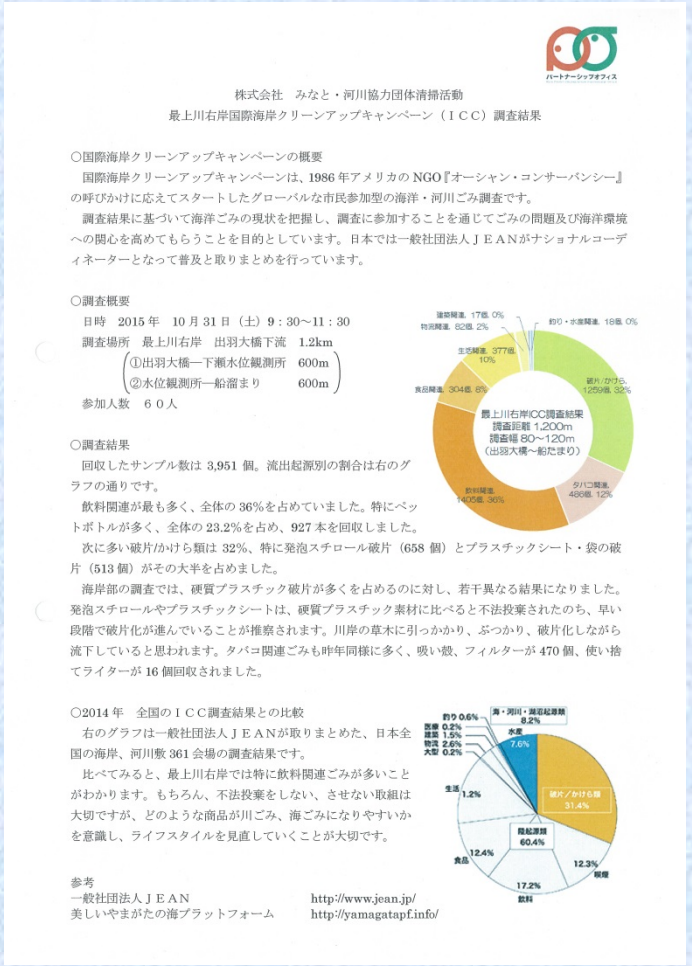
回収したゴミと一緒に



分類調査の様子



河川清掃の様子



株式会社　みなと・河川協力団体清掃活動
最上川右岸国際海岸クリーンアップキャンペーン（ＩＣＣ）調査結果

○国際海岸クリーンアップキャンペーンの概要
国際海岸クリーンアップキャンペーンは、1986 年アメリカの NGO『オーシャン・コンサーバンシー』の呼びかけに応えてスタートしたグローバルな市民参加型の海洋・河川ごみ調査です。
調査結果に基づいて海洋ごみの現状を把握し、調査に参加することを通じてごみの問題及び海洋環境への関心を高めてもらうことを目的としています。日本では一般社団法人ＪＥＡＮがナショナルコーディネーターとなって普及と取りまとめを行っています。

○調査概要
日時　2015 年　10 月 31 日（土）9：30～11：30
調査場所　最上川右岸　出羽大橋下流　1.2km
（①出羽大橋―下瀬水位観測所　600m
②水位観測所―船溜まり　600m）
参加人数　６０人

○調査結果
回収したサンプル数は 3,951 個。流出起源別の割合は右のグラフの通りです。
飲料関連が最も多く、全体の 36%を占めていました。特にペットボトルが多く、全体の 23.2%を占め、927 本を回収しました。
次に多い破片/かけら類は 32%、特に発泡スチロール破片（658 個）とプラスチックシート・袋の破片（513 個）がその大半を占めました。
海岸部の調査では、硬質プラスチック破片が多くを占めるのに対し、若干異なる結果になりました。発泡スチロールやプラスチックシートは、硬質プラスチック素材に比べると不法投棄されたのち、早い段階で破片化が進んでいることが推察されます。川岸の草木に引っかかり、ぶつかり、破片化しながら流下していると思われます。タバコ関連ごみも昨年同様に多く、吸い殻、フィルターが 470 個、使い捨てライターが 16 個回収されました。

○2014 年　全国のＩＣＣ調査結果との比較
右のグラフは一般社団法人ＪＥＡＮが取りまとめた、日本全国の海岸、河川敷 361 会場の調査結果です。
比べてみると、最上川右岸では特に飲料関連ごみが多いことがわかります。もちろん、不法投棄をしない、させない取組は大切ですが、どのような商品が川ごみ、海ごみになりやすいかを意識し、ライフスタイルを見直していくことが大切です。

参考
一般社団法人ＪＥＡＮ　http://www.jean.jp/
美しいやまがたの海プラットフォーム　http://yamagatapf.info/

平成27年度活動報告書より

【河川協力団体の活動紹介】

『酒田河川国道事務所管内』:最上川水系京田川

河川協力団体名:山形県ボート協会

（H27.3.2指定）

★京田川　クリーン運動

最上川支川の京田川をフィールドとして活動する、ボート競技の団体です。

毎日の練習で使用するほか、年4回ほど開かれる競技大会もあり、大会終了後には参加選手・役員で清掃活動を行っています。

活動期間の4月から11月上旬までは、毎週末に河川敷の除草を行って、散歩などで利用される地域の方々にも気持ちよく使っていただけるよう心がけています。



清掃活動の様子



河川敷除草の様子

平成27年度活動報告書より

【河川協力団体の活動紹介】

『最上川ダム統合管理事務所管内』

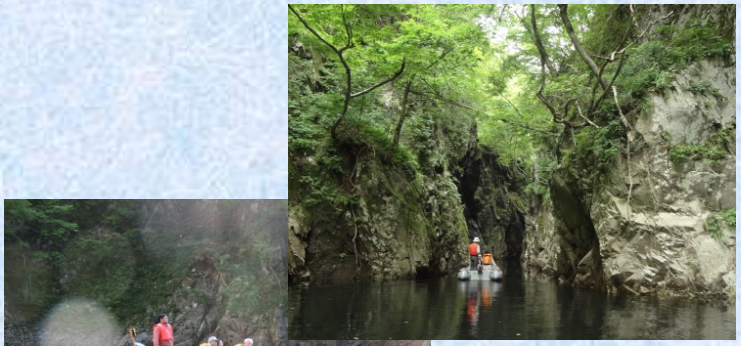
河川協力団体名：最上川リバーツーリズムネットワーク

（H26.4.24指定）

★ながい百秋湖遊覧

ながい百秋湖（長井ダム湖）周辺は素晴らしい自然景観があり、特に上流部の三淵渓谷（みふちけいこく）をゴムボートによるツーリングを実施することで、ダムと市民をつなぐだけでなく、旅行者にも広く紹介されています。

この取組は、各種メディア等で紹介されており、多くの観光客の集客につながっており、地域の活性化に貢献しています。







★ウォーターインタープリター養成講座

長井市を流れる清流置賜野川の水源地域と、その自然環境を深く理解し、後世へ守り伝えていく「水の案内人」を育成する講座を開催しています。

これまで4回の開催で、地域づくりや水環境に興味がある29名が、野外活動に必要な座学や実習を経てウォーターインタープリターに認定され、様々な場面で活躍しています。

この他に自然環境保全や地域づくりなど様々な活動を行っています！